

特集 奈良女子大学の 未来を語る



—2013年4月1日付で就任した今岡春樹学長に各学部の学生が質問し、奈良女子大学の今、そして未来について語っていただきました。

■学際教育について

加藤さん 私は文学部にいながら、理系分野の研究ができる点を非常に魅力的に感じています。奈良女子大学における文系理系の学際領域について教えてください。

今岡 高校までは文系と理系、受験のために便宜的に分けられていますが、本来はそういう分け方はありません。一般的には、中高で語学が好きな人は文系、数学が好きな人は理系を選ぶと思います。例えば、ネイティブでない人が英語を読んで理解する。文系の人は、それが分かる喜びであり、面白いと感じます。つまり、言葉に対する興味のスタートであり、それは1つの抽象化。世の中を言

葉で理解したいと思うきっかけとなります。また一方で、「 $A+B=B+A$ 」といった代数が好きな人は理系だと言えます。記号を使うと便利と感じる人もたくさんいます。しかし、文系の人が理系の基礎を知っていれば得をするし、その逆で理系の人でも文系の素養があれば得をすることもあります。

加藤さん 文学部でも研究室があって、白衣を着て中庭の池の水質検査を行ったこともありました。文学部でこのような研究ができて本当に良かったと思います。

今岡 小規模な大学だからこそできることですね。実は、文学部と理学部の先生は話が合わないこともあるのです。なぜなら、理学部は実証や証明ができることがベースにある学問。世の中の真実が見つかる、それは普遍性が高く、世界や宇宙でも通用するものだったらなおさらです。しかし、文学部は普遍性のあるものは少ないからです。

加藤さん 社会学、民俗学などですね。

今岡 そうです。理系はある程度の知識を共有し、その上に学問を積んでいくイメージですが、文系はそうではありません。学問には積み重ねができる世界とできない世界があります。物理で言うと100年前の人よりも今の人のほうがはるかにレベルが高い。しかし、芸術を含めた文学ではそうはいきません。学問は奥が深いのです。

■女子大にある理学部について

森田さん 私は身近な自然現象に興味を持ったことがきっかけで、理学部を志望しました。男性のイメージが強い理学部ですが、女子大にある意義について教えてください。

今岡 日本に女子大はたくさんありますが、理学部があるのはお茶の水女子大学、日本女子大学、そして奈良女子大学



森田 紗代

理学部物理科学科4回生
出身校：京都市立西京高校（京都府）

コメント：身近な問題から学術的な問題に至るまで、多くのことを知ることが出来ました。奈良女子大学の在り方や、女性研究者の存在についてのお話はとても興味深く、自身の専門分野を飛び越えて視野を広げるきっかけとなる素敵な機会となりました。

加藤 のぞみ

文学部人文社会科学地域環境学コース3回生
出身校：名古屋国立名東高校（愛知県）

コメント：学長と他学部他学科の方とお話ができ、とても良い刺激を受けました。全く違う学問領域でも、共通する点がいくつもあることに驚きました。対談で奈良女子大学の知らなかった一面や、これから広がる可能性を知ることができて良かったです。



の3校だけ。理系の中では化学か生物学を選択する学生が多いですが、森田さんはなぜ物理を選んだのですか。

森田さん 出身高校で基本的には物理を選択するようになっていたことと、教え方が上手な物理の先生がいたからです。

今岡 本学出身の数学や理科の先生が高校に居て、その影響で入学を希望する高校生も多いと聞いています。高校で学ぶ物理の公式は5つぐらいで、受験に関しては大きな魅力です。また、心理学でも心理物理学、生物でも生物物理学などがあるように、物理は学問の王様、モデルとも呼ばれています。なぜなら、出来る限り簡単な式で物事の本質がズバリ解るから。真実は割に単純なものなのだと思える学問で、実験と理論がある面白さも実感できます。

森田さん 確かにそう思います。授業や研究を通して、物理の勉強がもっと好きになりました。

今岡 一般的には、理系離れが進む現代。本学では理科好きを増やそうと、「サイエンスオープンラボ」を開いています。今後もこのような活動を続け、サイエンスの面白さを伝えていきたいと思っています。また、女子大にある理学部として、次世代の女性研究者の育成にも力を入れているところです。

「女性リーダー」について

八木さん 現在、私は就職活動をしているのですが、その中で「女性リーダー」という言葉を耳にする機会が増えました。「女性リーダー」育成のための取り組みを教えてください。

今岡 個人の能力は、自分自身に対する

能力と2人以上のチームで発揮する能力とがあります。リーダーとは、チームにおける能力なので、コミュニケーション力や人に信頼されているかどうかということ。単純に言えば部下が何人いるかということで、多ければ多いほどリーダー度が高いと言えます。日本では今は安倍さんが一番高いですね。

加藤さん 日本全国からいろんな人が集まり、同じ分野を学び、共に高め合う奈良女子大学。リーダーとしての気質を培うには良い環境だと思います。

今岡 勉強だけではなく、1つの集団は誰かを中心に集まるもの。一番厳しいのは山登りのチームです。人の命がかかっているため、リーダーの判断は絶対。最初にリーダーを選ぶときはみんなで決めますが、一旦決まるとリーダーが全てを決めていく。人から信頼される素質、それがリーダー像です。

八木さん その素質を養う上で、学生生活をどのように過ごせば良いのでしょうか。

今岡 1つはサークルに入るとか、何人かで集まって共同で何かを考えると。要はコミュニケーションなので、相手の立場に立てるかということが大事です。「最後は自分が責任をとるぞ」という心構えも必要ですね。また今は、女性も男性の部下をもって働く時代。男性の気持ちにもなれないといけません。女性に言われたらキズつく男性も多いですからね。

奈良女子大学の改組について

八木さん 来年度、奈良女子大学が改組されると聞きました。

今岡 平成26年4月から学科再編を行います。学部を越えて改組するのは全国的

CIRCLE

音楽部

今号では、音楽部を紹介します。音楽部は年に一度開催される関西合唱コンクールで昨年、一昨年と二年連続で金賞を受賞しています。また、入学式では本学の前身である奈良女子高等師範学校校歌の斉唱を披露し、新入生の新たな門出を祝福するなど、学内・学外を問わず活躍しています。今後の活躍にも大きな期待が持てる音楽部長の篠原さんからのセルフレポートです。



定期演奏会の様子

こんには！音楽部です。「音楽部」という名前だけ聞くと、何の部活なのか分かりにくいのですが、私たちの活動は合唱です。みんなで心と声を合わせ、楽しく美しいハーモニーを奏でるべく、日々練習を重ねています。大学から合唱を始めた人が大多数ですが、ボイストレーナーの先生の指導もあり、皆ぐんぐん上達します。年間の主なステージは、6月の奈良県合唱祭、10月のコンクール、そして12月の定期演奏会があります。また、7月には他大学の合唱団と合同演奏会を開き、外部との交流も大変盛んです。さらに、9月には4泊5日の合宿を行い、11月の恋都祭ではおでん屋を出店するなど、楽しいイベントも盛りだくさんです。実は、部員の多くがカラオケ大好

き！という意外な一面も（笑）ここ数年、部員の減少に苦しんでいましたが、今年は9人もの1回生を迎え、ワイワイ楽しく活動しています。

合唱の魅力は何と言っても、自分の声がみんなの声に溶け合い、美しい響きに包まれる瞬間にあります。ひとりで歌っているとは絶対に味わえない感動です。また、歌うことを通して育まれた、先輩、同輩、後輩、他大学の仲間たちとの絆は何にも替えがたい宝物です。

篠原 たまき

生活環境学部
住環境学科3回生
出身高校：
私立四天王寺高等学校（大阪府）



にも珍しいのではないのでしょうか。今は大学も顧客満足は抜きには語ることはできません。大学での顧客満足は大きく2つあり、1つは学生の満足度、もう1つは企業などの社会の満足度です。社会の変化は速く、研究のための学問から、実践で生かせるための学問へのニーズが高まっています。社会評価の重要性を考えたとき、学科再編、組織改正は必要不可欠だと考えています。

森田さん 具体的にはどのように再編されるのでしょうか。

今岡 文学部人間科学科を教育学・人間学コース、心理学コースの2コースにします。理学部は、数物科学科と化学生命環境学科に再編し、それぞれ3つのコースにします。また、生活環境学部は生活健康・衣環境学科を心身健康学科と情報衣環境学科に分け、従来文学部と理学部にあったコースを組み込み、より専門的に実践的に学べるようにします。大学院人間文化研究科では、心身健康学専攻に臨床心理学コースを設置予定で、先行して今年4月には臨床心理相談センターを設置しました。文学部と理学部は抽象度が高くなり、より深い学問としての位置づけとなり、生活環境学部は物を作る立

場ではなく、使う立場からアプローチし、自分たちで価値をつくる時代に対応していきます。

■ 奈良女子大学の未来について

加藤さん 今後の奈良女子大学についてどのようにお考えでしょうか。

今岡 世界一の女子大にすることが目標です。そのためには世界一の学生が卒業することが必要で、そのための一歩が大学を明るくしていくこと。最近は何だか暗いからね。また、高校生の半分以上が大学に行く時代になって、今後の大学入試を制度としてどうしていくのか。入試のための勉強で競争することは意味がありません。最終的に出来る学生を輩出するためには、大学入学以前から学問に興味を持てる社会にしていかなければならないと考えています。そのためには良い先生の存在が必要です。

八木さん 私も高校時代は好きな先生がたくさんいたからこそ、楽しく勉強ができました。

今岡 人間は脳が発達した生き物で、良いものや良い制度をつくることができ、世の中を良い方向に導くことができます。そのために自分の力が発揮できたら幸せなことです。価値の一番上には自己実現があり、自分が生きていたことが役に立ったと思えば、リーダー冥利に尽きると思います。そのために本学で充実した4年間を過ごし、それぞれのステージへ羽ばたいてほしいと願っています。



今岡 春樹 Haruki Imaoka
学長 専門: アパレル工学

工学博士。通産省工業技術院繊維高分子材料研究所技官、奈良女子大学家政学部助教授を経て、2001年奈良女子大学教授、2011年生活環境学部学長を歴任。2013年奈良女子大学学長に就任。

八木 遥

生活環境学部住環境学科4回生
出身校: 京都府立洛西高等学校

コメント: 『文理共存』や『女性リーダー』といったキーワードを通してお話しする中で、奈良女子大学の持つ特色や果たすべき役割において新たな気づきがたくさんありました。改めて恵まれた環境の中で勉強させてもらっているのだと感じました。



Faculty of Letters

文学部共通科目 「学ぶことと女性のライフスタイル」

自分自身の女性としての学びを歴史的・社会的な視野のもとに考えるこの授業では、複数教員によるチームティーチングや少人数でのミニゼミを通じて、主体的に学ぶライフスタイルの獲得を目指しています。



ミニゼミでのディスカッションの様子

な んのために奈良女子大学は創られたのか?それは、女子が高等教育を受けることが難しかった時代に、「学びたい」と願う女子に勉学の場を与えるためだったそうです。この講義の前半部では、こうした奈良女と女子教育の歴史を学びました。「女子と学び」の歴史を振り返り、奈良女の果たしてきた役割を知ることでできる貴重な時間だったと思います。

ま た、講義の後半では、「女性」に関する問題や社会のあり方をミニゼミ形式で学びます。私が参加したゼミで扱ったテーマは「貧困」。難しいテーマでしたが、同じゼミの友達や先生とのディスカッションを通して、多くの気づきや発見がありまし

た。いまこの社会の中で女性(つまり私)はどのような立場にいるのか。女性であることを軸に、このような社会的問題を掘り下げる貴重な経験となりました。

当 たり前と受け入れてしまっていることを歴史とともに振り返り、それによって「いま」を学ぶ。この経験は、今後どのような専門分野に進むにしても、私たちの「学び」を貫くものとなるに違いありません。

中井 裕子

文学部
人文社会科学科2回生
出身高校: 国立大阪教育大学
附属高等学校池田校舎



平成26年度 入試情報

各学部学科で受験を要する教科・科目、配点及びその他入試に関する詳細情報については、必ず平成26年度入学者選抜要項で確認してください。なお、☆印を付した学科は教育組織見直しに伴い大きな変更があります。

学部	学科等	入学定員	日程区分・募集人員			学べる内容		
			一般入試		AO入試		推薦入試	
			前期日程	後期日程				
文学部	人文社会学科	60				時間(歴史)・空間(地理)・関係(社会)をテーマに学びます。古代文化学、歴史学、社会情報学、地域環境学、文化メディア学の5コース制。 世界の主要言語・文学・文化現象を学び、国際社会で活躍する人材を育成します。日本アジア言語文化学とヨーロッパ・アメリカ言語文化学の2コース制。 社会と文化における人間と人間相互の生の営みに焦点をあわせ、人間の存在と形成について総合的に学びます。教育学・人間学と心理学の2コース制。		
	言語文化学科	50	99	45	6			
	☆人間科学科	40						
	小計	150	99	45	6			
理学部	☆数物科学科	63	A型(数学型)	17	9		3	自然現象に対して数的手法を駆使し、広い視野を持ち、変化し続ける社会に対応できる人材を育成します。数学、物理学、数物連携の3コース制。 物質や生命とそれらを取り巻く地球環境を総合的に捉えた視野を持つ人材を育成します。化学、生物学、環境科学の3コースがあります。
	B型(物理型)		18	11		5		
	☆化学生命環境学科	87	化学コース	23			4	
	生物学コース		23	12		4		
	環境科学コース		17			4		
小計	150	98	32		20			
生活環境学部	食物栄養学科	35	25	10			4	専門性の高い講義や実験、臨地実習を通じ、食と栄養のプロフェッショナルを育成します。所定単位修得で栄養士免許や管理栄養士受験資格が得られます。 心と身体の健康について総合的に学びます。生活健康学、スポーツ健康科学、臨床心理学の3つのコースがあります。 安全で快適な衣環境の構築やライフコンピューティングにより生活改善する能力を培います。衣環境学と生活情報通信科学の2コース制。 安全・安心で快適に生活できる住環境を創造できる力を培います。学びの対象はインテリア、建築から地域コミュニティ、都市計画と広範囲に及びます。 法学・歴史・ジェンダーなど、生活を取り巻く様々な文化現象をあらゆる視点で捉えて分析します。生活文化の向上に貢献出来る人材を育成します。
	☆心身健康学科	40	A型(文学型)		3		4	
	B型(生活環境型)			7	4	4		
	☆情報衣環境学科	35	衣環境学コース	10			5	
	生活情報通信科学コース		10	5		5		
	住環境学科	35	25	7			3	
	生活文化学科	30	18	7			5	
	小計	175	110	39	4	22		
合計	475	307	116	10	42			

※この募集人員等は文部科学省大学設置・学校法人審議会の審議結果によって確定します。このため上記内容は予定であり変更があり得ます。

- 備考 (1) 文学部においては、前・後期日程とも、学科別の志望は認められません。第2年次から各学科に所属することになります。その際、定員を超過する学科については選考を行うことがあります。なお、AO入試については、本学が指定する2つの分野の中から1つを選択して志望してください。
- (2) 理学部数物科学科においては、A型かB型で受験することになります。第2年次から数学コース、物理学コース、数物連携コースのいずれかに所属することとなります。理学部化学生命環境学科前・後期日程では志望するコースを選択してください。なお前期日程においては第3志望まで、後期日程においては、コース毎の定員は設けていませんが、学科内で第2志望までコース選択することができます。
- (3) 生活環境学部においては、前・後期日程とも第3志望まで学科(コース)を選択することができます。志望出来る範囲は以下のとおりです。
前期日程：食物栄養学科・心身健康学科(B型)・情報衣環境学科(衣環境学コース)・住環境学科・生活文化学科

- 後期日程：食物栄養学科・心身健康学科(B型)・情報衣環境学科(衣環境学コース)・情報衣環境学科(生活情報通信科学コース)・住環境学科・生活文化学科
心身健康学科においては、A型かB型で受験することになります。前期日程については、総合得点によりA型B型一括で合否判定します。第2年次後期から生活健康学コース、スポーツ健康学コース、臨床心理学コースのいずれかに所属することになります。その際、定員を超過するコースについては選考を行うことがあります。ただし、AO入試についてはスポーツ健康学コースに所属することとなります。
情報衣環境学科については第1年次からコースに所属することになります。後期日程については、総合得点により衣環境学コース及び生活情報通信科学コースを一括で合否判定します。
- (4) 各学部の前期日程の募集人員には、帰国生入試による募集人員(各学部とも若干名)及び本学附属中等教育学校との高大連携特別教育プログラムに基づく特別入試による募集人員(3学部で6名以内)を含みます。
- (5) 私費外国人留学生入試は、各学部の入学定員外で若干名募集します。

●入試最新情報

<http://koto.nara-wu.ac.jp/nyusi/newest.html>

●教育組織見直しに関する情報

http://www.nara-wu.ac.jp/news/H24news/reformation_info/reformation_info.html

公開講座情報

今夏以降開催の公開講座を紹介します。会場は本学内です。詳しくはホームページでご確認または社会連携センター(tel:0742-20-3968)までお問い合わせください。

講座名	開催日時	募集	講師	受講対象者	
P対NP問題 —これが解けたら100万ドル—	平成25年8月2日(金)	14:00～16:30	50人	鴨浩靖 (奈良女子大学准教授)	一般・教員・高校生
パソコン講座 ①Microsoft Word 2010 ②Microsoft PowerPoint 2010 ③Adobe Illustrator CS6 ④Microsoft Excel 2010	①平成25年8月6日(火) ②平成25年8月9日(金) ③平成25年8月12日(月)、13日(火) ④平成25年8月27日(火)	※各回とも 9:00～16:00	各回30人	藤野千代 (奈良女子大学特任教授)	一般
数学の楽しみ2013	平成25年8月23日(金)	10:00～15:00	80人	松澤淳一 (奈良女子大学教授) 片桐民陽 (奈良女子大学准教授)	一般・教員
光明皇后の想いを感じる正倉院展	平成25年9月7日(土)	10:30～12:00	100人	内藤栄 (奈良国立博物館学芸部)	一般
素粒子と放射線のお話	平成25年10月5日(土)	13:00～16:20	50人	林井久樹 (奈良女子大学教授) 小川英巳 (奈良女子大学教授)	一般
暑さ寒さと生活	平成25年10月26日(土)	13:00～15:30	50人	久保博子 (奈良女子大学准教授) 佐藤克成 (奈良女子大学講師)	一般
本を読む男と女 ～読書にみる江戸の生活文化史～	平成25年12月14日(土) ※日程変更の可能性あり	13:00～16:00	50人	横田冬彦 (京都大学教授) 鈴木則子 (奈良女子大学教授)	一般



編集・発行 / 奈良女子大学広報企画室 編集責任者 / 室長 棚瀬知明 連絡先 / 奈良女子大学総務・企画課

〒630-8506 奈良市北魚屋東町 Tel 0742(20)3220 Fax 0742(20)3205 E-mail somu02@jimu.nara-wu.ac.jp

■バックナンバーはHPをご覧ください。▶ <http://www.nara-wu.ac.jp/nwtoday.html>